

特集

11月から新しいごみ焼却施設がスタートします

可燃ごみ・可燃粗大ごみは新ごみ焼却施設へ

**可燃ごみの出し方が変わります**  
みやま市と柳川市の可燃ごみを焼却処理する新ごみ焼却施設「有明ひまわりセンター」が、11月から稼働します。それに伴い、ごみの出し方が変わります。

何が変わるの？

今まで清掃センター(瀬高町東津留)へ持ち込まれていた可燃粗大ごみ・可燃ごみが、11月から新ごみ焼却施設柳川市橋本町へ持ち込みになります。



新ごみ焼却施設「有明ひまわりセンター」  
(柳川市橋本町631-7)

「ごみ袋はどうなる？」

ごみ袋・ごみ出し日の変更はありませんが、収集時間の変更となります。ごみ袋は午前8時までに出してください。

「粗大ごみの戸別収集は継続されますか？」

家具類や布団などの可燃粗大ごみを取りに来てもらう戸別収集は継続します。粗大ごみシール(1枚400円)を、ごみ袋取扱店で購入ください。

「分別ごみ(缶、ビン、ペットボトル、廃家電など)と不燃粗大ごみ(自転車、スチール棚など)の受け付けは継続します。」

分別ごみ(缶、ビン、ペットボトル、廃家電など)と不燃粗大ごみ(自転車、スチール棚など)の受け付けは継続します。

「粗大ごみの戸別収集は継続されますか？」

家具類や布団などの可燃粗大ごみを取りに来てもらう戸別収集は継続します。粗大ごみシール(1枚400円)を、ごみ袋取扱店で購入ください。

新ごみ焼却施設までのルート



可燃粗大ごみの処理方法

11月1日から

- 持ち込み場所 有明ひまわりセンター (柳川市橋本町)
- 営業時間 平日:午前8時30分～午後0時15分、午後1時～4時(平日であれば祝日も可)
- ごみの出し方



・鏡や大きな金具、ソファなどについているスプリングは外す

- 戸別収集 週2回(400円/個)

10月末まで

- 持ち込み場所 みやま市清掃センター (瀬高町東津留)
- 営業時間 平日:午前8時30分～午後0時15分、午後1時～4時30分(平日であれば祝日も可)
- ごみの出し方

・ソファやクローゼットなどはそのまま持ち込み可

- 戸別収集 週1回(400円/個)



11月からは、みやま市清掃センター(瀬高町東津留)へ可燃粗大ごみの持ち込みができなくなります。10月までに同センターで処分しておきましょう。

ごみの出し方説明会を実施



「有明ひまわりセンター」の運転開始に向けて、市内の全行政区(約140か所)で説明会を行いました。市職員とエコイベントの普及などに取り組む市民エコサポーターが、各行政区の参加者に説明。出し方の変更点に加え、分別の徹底・燃やすごみの減量によるCO2排出量の削減について説明しました。

ゼロカーボンシティみやま

2050年までに温室効果ガスを0に

「ゼロカーボンシティみやま」を表明

市は、持続可能な地域を次世代に残すため、今年の8月に、2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を表明しました。

「ゼロカーボンシティ」とは

環境省において、「2050年までに温室効果ガスを実質ゼロにすることを目指す旨(脱炭素化)を、表明した地方公共団体」のことです。

ゼロカーボンシティと地球温暖化

18世紀半ばの産業革命以降、石油や石炭などの化石燃料が利用され、二酸化炭素などの温室効果ガスが大量に放出されるようになりました。世界の平均気温は、産業革命以前に比べ約1度上昇しました。

地球温暖化がそのまま進行すると、生物多様性の消失や風水害の増加など、私たちの安全・安心な暮らしが脅かされる恐れがあります。そうならないよう、みやま市はゼロカーボンシティを目指します。私たち一人一人が「自身自身のこと」として捉えることが大切です。一人一人ができることを一緒に考えてみましょう。

ゼロカーボン実現のためにできること

現在、市民の皆さんに協力いただいている生ごみやプラスチック、紙おむつの分別により、焼却処理に比べ、温室効果ガス排出量を大きく削減することができています。ごみの分別だけでなく、買い物の際にマイバッグを持参することや、ふんわりアクセルで緩やかに発進するなどの省エネ運転「エコドライブ」を心がけることも、温室効果ガス排出量の削減に効果的です。

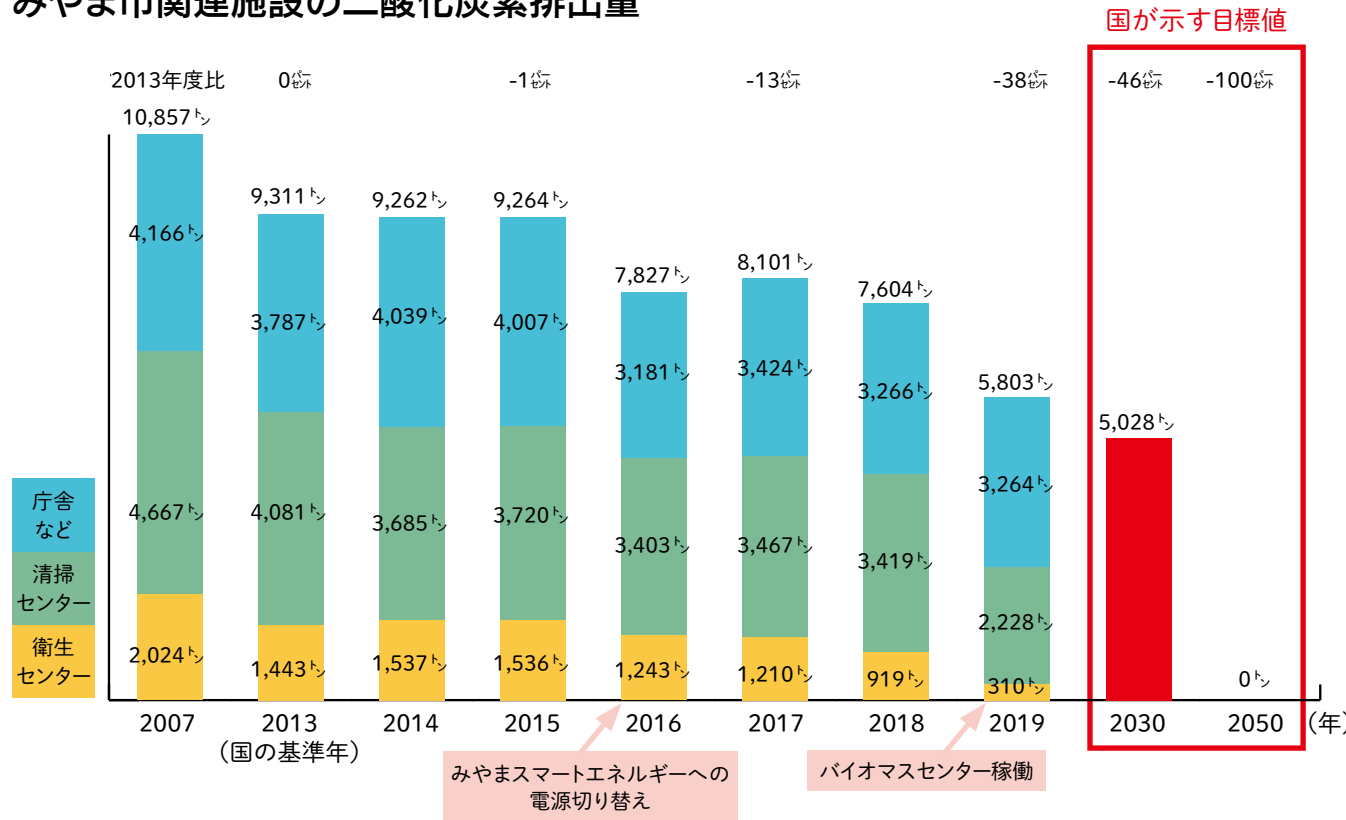
「ゼロカーボンシティみやま」の表明全文はこちら



温室効果ガスって何？

温室効果ガスは地球の大気中に含まれており、二酸化炭素やメタン、フロンガスなどがあります。温室効果ガスは、赤外線を吸収し再び放出するという性質によって、地球は暖められています。近年は石油・石炭の大量消費や森林減少などにより、温室効果ガスが増加し、地球の平均気温は上昇し続けています。人為的に発生する温室効果ガスの抑制のため、さまざまな取り組みが行われています。

みやま市関連施設の二酸化炭素排出量



バイオマスセンターの稼働に伴い、燃やすごみの量が減少し、ごみを処理する清掃センターや衛生センターの二酸化炭素排出量も減少しています。今後は、2050年の温室効果ガス排出量実質ゼロを目指して、ロードマップの作成と第二次みやま市地球温暖化対策実行計画の策定に取り組んでいきます。